



住吉神社 (豊中市)

全国に数ある住吉神社の一つで、
豊中市服部南町の閑静な住宅街の中に佇む神社です。
創建年代は定かではありませんが
全国の住吉神社の総本社である
住吉大社（大阪市住吉区）の別宮として建立され、
数回の再建を経て現在の社殿となっています。
本殿の裏にある神門には太閤秀吉公の桐の紋が彫刻されています。



神楽殿

古式に則り総檜造りで建築し、大阪最古の能舞台として国の登録有形文化財に登録されている。現在も年に数回、祭り等でこの能舞台を使用している。

